

1 研修テーマ 「子どもが意欲的に取り組む表現活動」

2 研修の概要

- 4月 第1回部会 活動計画 ・実技研修内容の決定 ・授業者の決定
- 6月 第2回部会 授業研究
 - ・授業者 新発田市立藤塚小学校 佐野 朱佳 先生
 - ・指導者 北蒲原郡聖籠町立蓮野小学校教頭 石塚 崇 様
- 11月 第3回部会 実技研修
 - ・講師 新発田市立藤塚小学校校長 長谷川 重雄 様
 - ・内容 「いろいろな技法」

3 研修の実際

(1) 第2回 授業研究 6学年「お話の世界」(共同製作)
～いろいろな技法をつかって～

①本時のねらい

「スイミー」の世界を階段アートで表現し、鑑賞することができる。

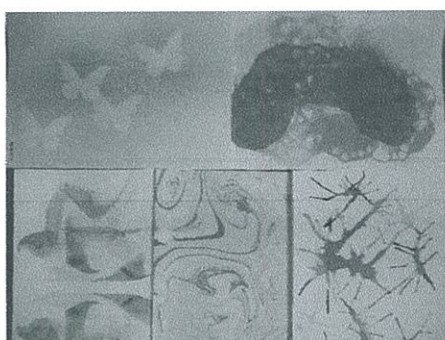
②主な展開の構想

研修テーマ「子どもが意欲的に取り組む表現活動」を受けて、以下の手だてがなされた。

- 表現活動に対しての消極性や苦手意識の克服のため、様々な技法を用いる。
- 全校の目に触れる「階段アート」という共通の目的をもたせ、共同製作に取り組ませる。
- 「スイミー」の世界観を深め、イメージを広げる。

③指導の実際

前時までいろいろな技法を使いながら海の中を製作してきて、本時はスイミーたちをスタンプングで完成させる最終段階の授業であった。上記の手だてにより、意欲的に活動する姿が見られた。そのためやや鑑賞時間が少なくなったが、「階段アート」の特徴やよさが感じられる感想が多く出された。



(2) 第3回 実技研修 「いろいろな技法」

マーブリング・カラーバブル・ドリッピング・スパッタリング・ストリングの実技講習を受けた。実際に自分でやってみることで、様々な技法のこつや失敗の原因を学ぶことができた。

また、実技を行う際の場の設定の仕方や道具の準備についても指導の参考となることが多く充実した研修になった。

4 成果(○)と課題(■)

- 様々な技法をつかうことは「意欲的に表現活動に取り組む」のに効果的な方法であることが再確認できた。技法からイメージを広げたり、それぞれの技法をどの場でのように使うか工夫したりしながら、生き生きと活動する姿が見られた。
- 技法は試しに行うのみで作品に結びつかなかったり、単なる作業のようになってしまいうこともある。技法が生きるような題材を考えることや、子ども同士が関わりながらよりよい作品に高めていくような学習過程を工夫していくことが必要である。